

## 平成18年度指定管理者制度導入施設実績報告書一覧

### 該当施設

施設所管課		施設名	事業者	指定期間
福祉部	社会福祉課	笠間市中心身障害者福祉センター (美原)	(社)笠間市社会福祉協議会	H18.9.1～H20.3.31
		笠間市地域福祉センター 「笠間市友部社会福祉会館」	(社)笠間市社会福祉協議会	H18.9.1～H20.3.31
		笠間市いこいの家「はなさか」	(社)笠間市社会福祉協議会	H18.9.1～H20.3.31
	岩間支所福祉課	福祉センター(下郷)	(社)笠間市社会福祉協議会	H18.9.1～H20.3.31
		笠間市福祉センターいわま	(社)笠間市社会福祉協議会	H18.9.1～H20.3.31
産業経済部	農政課	笠間クラインガルテン	茨城中央農業協同組合	H18.3.1～H21.3.31
	商工観光課	あたご天狗の森スカイロッジ	(社)笠間観光協会	H19.4.1～H24.3.31
		笠間工芸の丘	笠間工芸の丘(株)	H18.4.1～H28.3.31
		北山公園	笠間市シルバー人材センター	H18.9.1～H20.3.31

施設の名		効果的運営に関する				有効活用に関する				活動状況に関する
施設の所在地		収支の状況				利用状況				活動状況に関する
指定管理者名		収入額(千円)		支出額(千円)	差引額(千円)	施設利用者数	利用率	年間稼働日数	1日当たりの利用者数	活動状況に関する
笠間市中心身障害者福祉センター		効果的運営に関する				有効活用に関する				活動状況に関する
笠間市美原三丁目2番11号		収支の状況				利用状況				週5日 午前9時～午後4時 就労、作業訓練を中心に、各種事業への参加及びレクリエーションの実施。笠間市内3箇所の作業所の交流会を実施し職員間の連携を深めた。
(社)笠間市社会福祉協議会		収入額(千円)		支出額(千円)	差引額(千円)	施設利用者数	利用率	年間稼働日数	1日当たりの利用者数	活動状況に関する
17年度		24,214		27,973	△3,759	(16年度 5520人)	100.0%	240日	23人	活動状況に関する
18年度		22,908		22,908	0	5,520人	95.7%	240日	22人	活動状況に関する
17年度		委託料 24,214	利用料 0	その他 0						活動状況に関する
18年度		委託料 22,908	利用料 0	その他 0						活動状況に関する
対前年比		94.6%		81.9%						活動状況に関する
実績に対する評価(指定管理者の意見)		利用者が通所をすることにより、規則正しい生活が保て、就労する喜びを提供することに努めたい。								
利用者からの評価		意見	利用者は、毎日通所することが生きがいとなっている。障害があるため、指導員が変わると馴染めないことがあるため、同じ指導員のもとで訓練することが望ましい。							
管理運営の改善方策(所管の総評)		対処方法	養護学校等を卒業した後の就労・訓練の場として充実させていく。							
収入状況について										
利用状況について		養護学校と連携をして、体験学習を継続して行い、卒業後の就労・訓練の場として情報提供していく。								
活動状況について		仕事が少なくなっている状況であるため、今後継続的に仕事を提供してくれる会社を訪問し受注に努める。								
笠間市地域福祉センター		効果的運営に関する				有効活用に関する				活動状況に関する
笠間市美原三丁目2番11号		収支の状況				利用状況				祝祭日以外は、開館し広く住民に利用されている。
(社)笠間市社会福祉協議会		収入額(千円)		支出額(千円)	差引額(千円)	施設利用者数	利用率	年間稼働日数	1日当たりの利用者数	活動状況に関する
17年度		13,608		13,608	0	(16年度 35,795人)	100.1%	345日	103.8人	活動状況に関する
18年度		11,626		11,625	1	35,825人	97.5%	344日	101.5人	活動状況に関する
17年度		委託料 9,919	利用料 0	その他 3,689						活動状況に関する
18年度		委託料 11,501	利用料 0	その他 125						活動状況に関する
対前年比		85.4%		85.4%						活動状況に関する
実績に対する評価(指定管理者の意見)		水道光熱費・消耗品費・器具什器費等の経費の節減に努めた。								
利用者からの評価		意見	部屋数を増加してほしい、調理室を拡張してほしい等の要望があった。							
管理運営の改善方策(所管の総評)		対処方法	部屋数問題については、開館時間の拡大と利用時間の適切な配分で部屋を割振り、効率的に使用していく方法で解決していく。調理室の拡張については、財源等の課題も含め協議を進める。							
収入状況について		節水・節電の徹底など経費削減に努め、効率的運営を進めるよう管理する。								
利用状況について		更に多くの市民が利用できるように、有効活用を再検討して、サービスの質の向上に努める。開館時間の拡大により部屋数の不足にも対応できるよう検討する。								
活動状況について		地域福祉の活動拠点として活用できるよう、開館時間の拡大や新規事業の検討を図る。								
笠間市いこいの家「はなさか」		効果的運営に関する				有効活用に関する				活動状況に関する
笠間市橋爪586番地4		収支の状況				利用状況				広く市民に年末の疲れを癒してもらうべく、12月29日・30日を拡大営業した。
(社)笠間市社会福祉協議会		収入額(千円)		支出額(千円)	差引額(千円)	施設利用者数	利用率	年間稼働日数	1日当たりの利用者数	活動状況に関する
17年度		56,134		56,134	0	(16年度 12,378人)	703.7%	298日	292.3人	活動状況に関する
18年度		52,905		52,905	0	87,102人	93.8%	287日	284.5人	活動状況に関する
17年度		委託料 16,868	利用料 38,382	その他 884						活動状況に関する
18年度		委託料 17,513	利用料 34,530	その他 862						活動状況に関する
対前年比		94.2%		94.2%						活動状況に関する
実績に対する評価(指定管理者の意見)		レジオネラ菌の検出により年間稼働日数が減となったが、市民の癒しの場として便宜を総合的に供与し、更なる福祉の増進を図りたい。								
利用者からの評価		意見	料金の現状維持、営業時間の延長(年末年始の祝祭日等)の要望があった。							
管理運営の改善方策(所管の総評)		対処方法	料金については同種施設との比較検討をしていく。衛生面では館内外の清掃強化等による安全管理を徹底し事故のないように努める。							
収入状況について		安全管理、サービスの更なる向上により売上げの増加を図る。また、利用料の値上げを検討中である。								
利用状況について		集客数に上限がある施設設計のため、最高上限枠内の利用者に対して質の良いサービス提供に努める。又、事故のないよう衛生・安全面の徹底した管理を行う。								
活動状況について		年末年始及び冬季営業時間の拡大(予定)によるサービスの更なる向上をしていく。								

施設名称		効果的運営に関すること				有効活用に関すること				活動状況に関すること		
施設名称	笠間市福祉センター(下郷)	効果的運営に関すること				有効活用に関すること				午前には作業訓練等を行う予定になっているが、仕事量が少ないため買い物や料理等の社会適応訓練に切り替えてワークス事業を実施している。		
施設の所在地	笠間市下郷5139番地1	収支の状況				利用状況						
指定管理者名	(社)笠間市社会福祉協議会	収入額(千円)		支出額(千円)	差引額(千円)	施設利用者数	利用率	年間稼働日数	1日当たりの利用者数			
施設所管課	岩間支所福祉課	17年度	1,800	1,800	0	(16年度 2,443人) 2,113人	86.5%	229日	9.2人			
設置目的	市民の健康保持及び増進並びに在宅心身障害者の福祉向上を図る。	18年度	6,978	6,978	0	18年度	2,079人	98.4%	231日	9人		
		委託料	6,838	利用料	0						その他	140
		対前年比		対前年比							対前年比	
		387.7%		387.7%								
実績に対する評価(指定管理者の意見)		家庭及び就労との規則正しい生活が営まれている。18年度からの指定管理者制度に伴い職員体制の見直しを行い、現在臨時職員1名のところを正職員1名追加し2名としたため、人件費が増加した。										
施設概要	鉄筋コンクリート造福祉センター専用部分283㎡共用部分65㎡(集会室、図書室、作業訓練室、相談室、事務室、和室)  (平成2年開設)	利用者からの評価		意見評価内容等	和室の畳が古いというクレームがある。							
				対処方法反映状況	現在、見積徴収中で修繕作業に入る予定であり、今後は利用者に気持ち良く使用してもらいたい。							
		管理運営の改善方策(所管の総評)		収支状況について	市内3地区で同事業を実施していることから、連絡調整を十分にいきいき活動交流事業の対象者に対し普及促進を行う。一般開放日については施設の修繕等を実施し、広報紙等によりPR活動を行い利用者増を図る。							
		利用状況について		ワークス事業のメニュー充実及びPR活動等を実施し、未利用者に対して利用促進を図る。								
		活動状況について		新規取引先企業の追加を図るため、会社訪問等を行い十分な仕事量の確保に努める。また、活動メニュー等の拡充を図る。								
施設名称	笠間市福祉センターいわま	効果的運営に関すること				有効活用に関すること				活動状況に関すること		
施設の所在地	笠間市泉159番地	収支の状況				利用状況				月:配食、水・金:いきいき活動交流事業、木:一般開放を実施している。配食・会食の利用者は、増加傾向にある。風呂の配管が老朽化しており、一般開放日以外は女湯のみを使用し時間帯で分けて使用している。また、当施設はボランティア活動及び介護保険事業の拠点としても利用されている。		
指定管理者名	(社)笠間市社会福祉協議会	収入額(千円)		支出額(千円)	差引額(千円)	施設利用者数	利用率	年間稼働日数(日)	1日当たりの利用者数			
施設所管課	岩間支所福祉課	17年度	27,042	27,042	0	(16年度 7,122人) 7,515人	105.5%	228日	33日			
設置目的	老人に対して、各種相談、健康増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、地域福祉の向上を図る。	18年度	4,131	4,131	0	18年度	7,302人	97.2%	226日		32.3日	
		委託料	4,131	利用料	0					その他		0
		対前年比		対前年比						対前年比		
		15.3%		15.3%								
実績に対する評価(指定管理者の意見)		風呂の老朽化等の要因により、一般開放日の利用者が減少傾向にあるため施設改修を検討し利用者増に努める。一方、配食サービスの利用者は年間150食程度増加している状況にあり、これからもボランティアスタッフの確保、PRの実施を行い、事業の拡充を図る。										
施設概要	鉄筋コンクリート造平屋建603.7㎡(事務室、相談室、機能訓練室、娯楽室、調理室、浴室)ボイラー室27.0㎡敷地面積5,500㎡  (昭和52年開設、平成12年改修)	利用者からの評価		意見評価内容等	風呂が老朽化しているため、湯及びシャワーの出が悪くクレームが多い。							
				対処方法反映状況	配管内部のサビが原因であり業者より見積徴収したが、修繕費が高額である。							
		管理運営の改善方策(所管の総評)		収支状況について	今後の利用計画を踏まえ、施設の修繕費用(給湯施設、避雷針、ベランダ等)の検討を行う。又、事業内容に対しては適正な人員配置を行い、経費削減を図る。							
		利用状況について		いきいき活動交流事業の対象者に対し普及促進を行う。一般開放日については施設の修繕等を実施し、広報紙等によりPR活動を行い利用者増を図る。								
		活動状況について		いきいき活動交流事業、配食事業については、施設が廃止されると事業存続ができない状況になる。又、ボランティア団体の活動施設でもあり、団体育成に支障がでる。								
施設名称	笠間クラインガルテン	効果的運営に関すること				有効活用に関すること				活動状況に関すること		
施設の所在地	笠間市本戸4258番地	収支の状況				利用状況				農産物販売所における特売イベントや農業体験事業を実施し、集客促進を図った。 ○特売イベント 4月オープンセール、7月七夕感謝祭、9月感謝祭、10月収穫祭、12月年末感謝祭、1月新春感謝祭 ○農業体験 5月田植え体験、9月稲刈り体験、10月りんご狩り体験、栗拾い体験等 そば処では、食事とセットでのブルーベリー狩りを実施。食事メニューの追加。各店舗前に無料休憩所を設置。パンフレットを作成し、PRを強化。		
指定管理者名	茨城中央農業協同組合	収入額(千円)		支出額(千円)	差引額(千円)	施設利用者数	利用率	年間稼働日数	1日当たりの利用者数			
施設所管課	農政課	17年度	20,365	22,051	△1,686	(16年度 62,130人) 60,600人	97.5%	306日	198人			
設置目的	都市住民と農村の相互交流を通じた農村の自然・生活文化の価値認識を高め、地域の活性化と豊かな農村づくりを目指す。	18年度	20,828	21,034	△206	18年度	61,186人	101.0%	309日		198人	
		委託料	0	利用料	20,828					その他		0
		対前年比		対前年比						対前年比		
		102.3%		95.4%								
実績に対する評価(指定管理者の意見)		前年度に比べ支出を抑え、経営の効率化に取り組むことができた。更なる売上向上を図るためには、平日の利用者数増加が課題。今後は平日のイベントや割引券の発行など、新たな集客の方策に取り組む必要がある。										
施設概要	・産地形成促進施設(農産物販売所)木造平屋建120㎡(売場面積60㎡) ・地域食材供給施設(そば処)木造平屋建150㎡(客席60席)  (平成13年開設、平成14年全面開設)	利用者からの評価		意見評価内容等	「ソフトクリームがおいしい」と好評を得ている。「農産物の品質がよい」と好評を得ている。「農産物販売所の品揃えが少ない」と指摘。							
				対処方法反映状況	イベントの開催やPRの強化により販売促進に努めるとともに、JA茨城中央管内(笠間市、旧七会村)での農産物出荷者数の拡大が必要。							
		管理運営の改善方策(所管の総評)		収支状況について	収入額は前年並みであるが、支出が抑えられ、JAの流通業務におけるノウハウが活かされ、効率的な経営が図られた。							
		利用状況について		JA関連の施設や市の公共施設、観光協会等の団体と連携しながら、PRの強化を図る。課題となっている平日利用者数の拡大においても、有効的な方策を検討しリピーターの拡充を図る。今後は、利用者に対する更なるサービス向上と集客に向けた事業やPR活動を展開し、利用計画目標達成のため20%の利用率増加を図る。								
		活動状況について		農産物販売所を窓口として、周辺の農村資源を活用した体験事業の充実。そば処における利用者のニーズに即した食事メニューの検討。								



施設 の 名 称		効果的運営に関すること				有効活用に関すること				活動状況に関すること	
施設の所在地		収支の状況				利用状況				12人用のロッジ入口を車椅子でも出入りできるようにスロープを設置して利用し易くした。4人用・6人用ロッジ側に柵を設置するなどの事故防止に努めた。	
		収入額(千円)		支出額(千円)	差引額(千円)	施設利用者数	利用率	年間稼働日数	1日当たりの利用者数		
施設 の 名 称	あたご天狗の森スカイロッジ										
施設の所在地	笠間市上郷2775番地7										
指定管理者名	(社)笠間観光協会	17年度	25,600		25,600	0	17年度	(16年度7,860人) 8,431人	107.3%	359日	23.5人
		委託料	25,600	利用料	0	その他	0				
施設所管課	商工観光課	18年度	26,882		26,882	0	18年度	8,583人	101.8%	359日	23.9人
	地域住民及び観光レクリエーションの振興に資するために設置。	委託料	26,880	利用料	0	その他	2				
設置目的		対前年比		対前年比							
		105.0%		105.0%							
		実績に対する評価(指定管理者の意見)		冬季利用を確保するため、宿泊料半額キャンペーンを実施した結果、冬季期間(1月～3月)の利用者は、前年度に比べ645人増となった。							
施設概要	管理棟 ログハウス(12人用2棟、6人用4棟、4人用4棟) バーベキュー広場(8基)  (平成6年開設)	利用者からの評価		意見 評価内容	家族での利用から友人・知人同士の利用へ形態が変わってきたこともあり、トイレと洗面所の間に仕切りがほしいという要望が多数あった。						
		対処方法 反映状況		要望に応じて、カーテンの間仕切りを付けて対応したなど、利用者に合ったサービス提供を心がけた。							
		管理運営の改善方策(所管の総評)		収支状況について	20年度から利用料を指定管理者の収入とする方向で準備を進めていき、指定管理者の経営意欲の推進を図り効率的運営を目指す。						
				利用状況について	現在、電話での予約となっているが、将来的にはインターネットでも予約できるようにし稼働率の向上を図る。又、稼働率が低い季節にスカイロッジの利用促進を図るイベント等を企画する。(19年度目標:25人/日)						
				活動状況について	管理棟内のミーティングルームの利用が少ないため、有効的な活用方法を図り稼働率を伸ばす。						
施設 の 名 称	笠間工芸の丘										
施設の所在地	笠間市笠間2388番地1										
指定管理者名	笠間工芸の丘(株)	17年度	263,362		240,796	22,566	17年度	(16年度201,750人) 200,500人	99.4%	308日	651人
		委託料	0	利用料	263,362	その他	0				
施設所管課	商工観光課	18年度	251,497		248,016	3,481	18年度	214,000人	106.7%	308日	694.8人
	地場産業と観光の振興を図るため設置。	委託料	0	利用料	250,705	その他	792				
設置目的		対前年比		対前年比							
		95.5%		103.0%							
		実績に対する評価(指定管理者の意見)		話題作家の企画展や陶芸体験などの開催により、17年度に比べ利用者数が13,500人増となった。							
施設概要	敷地面積58,306.37㎡ 建築面積3,183.26㎡ 延面積3,077.51㎡ (センタープラザ、一般工房、専用工房等)  (平成9年竣工)	利用者からの評価		意見 評価内容	カフェ部門で、季節限定メニューがあったほうが良いという意見があった。						
		対処方法 反映状況		季節ごとに構成メニューを改善した。新機種のソフトクリームマシンを導入し、季節ごとに味を変えられるようにした。(春:いちご、秋:栗など)							
		管理運営の改善方策(所管の総評)		収支状況について	管理業務の中に公園の芝・樹木管理も含めるなど、指定管理者が行う管理の基準や業務の範囲を見直していき、迅速な対応と施設全体の一環した管理を図る。						
				利用状況について	話題作家の企画展・陶芸体験など利用者が今求めているものに注目して集客率(5%増)を伸ばしていく。						
				活動状況について	お客の求める陶芸美術品とのふれあい、陶芸体験、自然と触れ合う余暇活動や癒しの空間など、笠間のもつ自然環境と調和した事業を展開する。						
施設 の 名 称	北山公園										
施設の所在地	笠間市平町地内										
指定管理者名	(社)笠間市シルバー人材センター	17年度	5,282		5,282	0	17年度	(16年度99,935人) 99,096人	99.2%	356日	278.4人
		委託料	5,282	利用料	0	その他	0				
施設所管課	商工観光課	18年度	4,896		4,896	0	18年度	108,679人	109.7%	356日	305.3人
	市民が自然に親しみつつ、観光レクリエーション及びスポーツ活動を行う場として設置。	委託料	4,896	利用料	0	その他	0				
設置目的		対前年比		対前年比							
		92.7%		92.7%							
		実績に対する評価(指定管理者の意見)		雑誌等による広告宣伝の効果が有り、前年度に比べバーベキュー・キャンプ場の利用者が580人増えた。							
施設概要	休憩施設、展望塔、板谷波山ロケセット、キャンプ場、バーベキュー場、ローラー滑り台	利用者からの評価		意見 評価内容	秋の散策も楽しめるように、紅葉を見られるところがほしい。						
		対処方法 反映状況		園内にもみじを植樹した。草刈については利用者からの苦情が出る前に行う。							
		管理運営の改善方策(所管の総評)		収支状況について	指定管理料に警備委託料や光熱水費などの維持管理費も含めるなど、指定管理者が行う管理の基準や業務の範囲を見直す。						
	(昭和49年整備開始、平成13年整備終了)			利用状況について	休憩施設の有効的な活用を生み出し、利用者促進を図り10%増を目指す。						
				活動状況について	訪れる人たちに季節感を味わってもらえるよう園内の整備に趣向を凝らし、新利用者の増員やリピーターの増加を狙う。						